

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	P a l 教室U p (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 22日		2026年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 8日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢集団での子どもたち同士が自然な関わりを持てる。	学校に足が向かないお子様も多くご利用していただけるような時間帯、プログラムを設定している。お友だちができること、教室に前向きに通うことができるようです。小学1年生～高校生が自然に関わることができるようにプログラムを考えサポートをしている。	来年度以降も活動内容を充実させながら、他者と関わる楽しさや喜びを経験できる教室にしていきたい。
2	毎月、季節の壁面制作を行い飾ることで子どもたちの達成感を味わうことができるようにしている。	様々な制作の技法や、獲得して欲しい生活動作や社会性などと組み合わせ毎月色々な制作活動を提供している。壁面を組み立てて飾る作業も子どもたちと一緒にすることで、達成感を味わうことができるようにしています。	今後も教室を明るく彩る壁面を子どもたちと制作し、様々なことに挑戦できる心を育てていきたい。
3	教室が広く、職員数も多い安心できる環境で様々な取り組みを行っている。	お子さま達が安心して通うことができる環境づくりに努めております。	児童発達支援から放課後等デイサービスまで変わらない環境で、長くご利用いただける教室にしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が薄い。	送迎がないためこちらから学校等地域に出向く機会が少ないことも一因。また、開所時間が長く、午前から午後まで常にお子さまをお預かりしているため地域の会合等にも出席しづらいことがある。	地域の方にも教室に来ていただけるような取り組みを実施したい。また時間を作って地域の会合等にも出席できるような体制作りを行ってきたい。
2	年に2回の研修の機会は設けられているが、内容が充実しているとは言えない。	P a l 教室全体での研修は教室によって療育内容や教室事情が違い、テーマを絞ってグループ討議を行ってもお互いイメージをすることが難しく結論を出すことが難しいことがあった。法定研修には触れているものの、もう少し内容を深めていきたい。	今後は、研修内容も深めていけるように学ぶ姿勢を大切にしていきたい。
3	口頭で日々の振り返りを行っているが、SNSの活用や動画・写真など保護者の方に分かりやすい発信が行えていない。また、実施した訓練等の報告も行っているが保護者に伝わっていないことが多い。	S N S等を使うことに対して個人情報の管理に不安がある。	個人情報の取り扱いと肖像権に注意を払いながらSNSを活用できる方法を模索してまいります。